

# 評 価 検 証 結 果

交付対象事業 の名称		就労支援・雇用創出事業		本事業における重要業績評価指標 (KPI)					町による自己評価		外部有識者による評価結果	
計画額	7,585,000	実績額	8,992,208	指標	指標値	単位	目標年月	実績値	評価、事業効果等	評価	主な意見	
【起業・創業・規模拡大支援事業】												
<p>広く起業や創業に関する外部アドバイザー招聘や企業等に関する研修会への参加助成、起業、創業や規模拡大に関する補助金等を交付し支援する計画であった。</p> <p>事業実績は、地域おこし協力隊の3人に研修費等に要する費用に対して補助金を交付した。当該3人については、起業を進める意欲があり、目標とした指標を達成した。</p>				起業を進める者の確保	1	人	H28.3	3	3人の確保を達成し、起業を目指す地域おこし協力隊を確保するため、有効であったと考える。	KPI達成に有効であった。	地域おこし協力隊に対し町をあげて継続的に支援する体制が望まれる。もっと町内に潜在する創業希望者の掘り起こしを進めるべき。	
【インターンシップ制度支援事業】												
<p>インターンシップ制度に取り組む事業所等その費用の一部を助成し、制度の定着化を図る計画であった。</p> <p>事業実績は、インターンシップ制度に取り組むことを希望する事業所を募ることができず実施できなかった。</p>									この事業をきっかけとして、雇用を創出した事業所は、0であり、KPI達成率0%だったため、有効とは言えなかったと考える。			
【地元企業就労者家賃助成事業】				新たな雇用の創出	1	事業所	H28.3	0	<p>インターンシップ事業については、県単位の広域で取り組むことで、企業のメリットを確保することの必要性を感じた。</p> <p>家賃助成については、雇用の創出に直接効果はなかったが、14人の町内居住者を確保できた。</p>	KPI達成に有効とは言えなかった。	事業のPRを積極的にすべきであった。町内居住者を確保できたことは、有効であった。家賃助成については、「結婚・出産・子育て」に位置付け、KPIの設定も見直すべき。	
【新商品開発・販路拡大事業】												
<p>新しい商品開発を支援するとともに充実した町内産品の新たな販路の確保や販路拡大を図るため、魅せ方にこだわったPRを展開する計画であった。</p> <p>実績としては、地域おこし協力隊の活動を推進するための環境づくり及び産品PRをするための魅せ方にこだわったパンフレット、写真等の素材づくりにとどまった。</p>				試作品開発	4	品	H28.3	0	<p>新たな試作品の開発は0品であり、有効とは言えなかったと考える。</p> <p>しかしながら、魅せ方にこだわったパンフレット、写真等の素材づくりを行ったことにより、今後のインターネット販売などの販路拡大への促進につなげる環境づくりは行えたと考える。</p>	KPI達成に有効とは言えなかった。	町内の既存事業者への周知が十分であったか疑問が残る。試作品の開発に当たっては、マーケットインの視点で専門的な人材の活用が必要であり、開発段階での専門機関等との連携を期待する。地元の農林水産物の加工品については、県の研究機関等の活用も検討しては。	

# 評 価 検 証 結 果

交付対象事業 の名称		人材還流システム構築事業		本事業における重要業績評価指標 (KPI)					町による自己評価	外部有識者評価	
計画額	13,910,000	実績額	7,359,919	指標	指標値	単位	目標年月	実績値	評価、事業効果等	評価	意見
事業名、実施内容及び効果		事業経費内訳									
【移住者PR事業】											
<p>合同開催の移住者相談会で自然の豊かさや豊富な食材、温暖な気候などの魅力をPRし、首都圏からの移住を推進する計画であった。</p> <p>実績として、合同移住相談会に1回参加した。ほかに地域おこし協力隊に係る会議に2回の参加及び地域おこし協力隊受入れの審査を行った。</p>											
【UIJターン移住支援事業】				移住の 具体的 相談件 数	5	件	H28.3	6	<p>窓口に相談があったもののうち、お試し滞在など移住可能性が具体化する相談に至った件数は、6件であり、有効であったと考える。</p> <p>6件のうち、実際に移住をしたのは、4人(うち、3人は地域おこし協力隊)となっている。</p>	KPI達成に有効であった。	<p>PR動画等を活用した広報も必要不可欠では。空家情報を町民も活用できたらよい。</p> <p>Uターンについては、町内の家族を利用したPRが有効でないか。</p> <p>PRをもっと積極的に行ったほうがよい。</p> <p>移住者への支援体制を構築すべき。</p> <p>KPIを移住者数とすることについて検討を。</p>
【移住者受入れ事業企画立案・情報発信支援事業】											
<p>移住のための居住環境を整え、首都圏からの移住を推進した。地域おこし協力隊のパソコン等の環境整備や移住相談会や移住に係る研修会への参加を行った。</p>											
【短期滞在型シェアハウス施設整備事業】				短期体 験型受 入環境 整備	1	箇所	H28.3	1	<p>1箇所を整備し、有効であったと考える。</p> <p>ただし、この施設については、町内1箇所の計画であり、予定どおり事業終了とする。また、施設については、移住支援事業等に活用するなど、有効活用していくことが重要だと考える。</p>	KPI達成に有効であった。	<p>事業としては、終了しているが、お試し滞在の受入数などにより、引き続き事業検証を行うことが望まれる。</p>

交付対象事業 の名称		「結婚・出産・子育て」支援事業		本事業における重要業績評価指標 (KPI)					町による自己評価	外部有識者評価	
計画額	2,580,000	実績額	427,026	指標	指標値	単位	目標年月	実績値	評価、事業効果等	評価	意見
事業名、実施内容及び効果		事業経費内訳									
【婚活イベント企画助成事業】				カップル 成立数	5	組	H28.3	3	<p>当初予定していた値の60%であり、有効とまでは言えなかったが、一定の効果はあったと考える。</p> <p>イベントのPR方法の見直しなど、参加者を増やす改善が今後必要だと考える。</p>	KPI達成に有効であった。	<p>KPIを達成できなかったことは残念であるが、結果にこだわらず出会いの場を提供すべき。</p> <p>地域の若者によるイベントの実施は、地域の活力にもなるので、継続が必要。</p>
【不妊治療医療費助成事業】				不妊治 療支援 数	20	組	H28.3	4	<p>当初予定していた値の20%であり、有効とまでは言えなかったが、支援に対する理解は深まったと考える。</p> <p>周知が不十分のためKPIを達成できなかった可能性が高ことから、広報の充実が必要と考える。</p>	KPI達成に有効とは言えなかった。	<p>子育て支援についても充実が必要。</p> <p>周知不足以外の原因についても検証しては。</p>